

西多摩医師会報

1984年8月1日

142号

発行所・社団法人 西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103

編集委員・村山 正昭

TEL.(0428)23-2171(代)

荒巻 武彦 石井 好明

栗原 琢磨

小林 杏一 堀田 洋夫

渡辺 良友



この芍薬の花は六月中旬頃、病院の職員が外来に飾ってくれたものをパステルで画いたものです。美しい花も数日の命ですが絵の中の花はいつまでも人の心を和らげてくれ、見ているうちに何となく愛着を感じてくるから不思議です。

宮川 栄次

文芸・随筆

鼻 く そ

丸 茂 節 子

昭和59年5月27日の日記より

毎週日曜日の朝八時半からの時事放談を大変楽しみに聞いている。世界、及び国内の情勢などに疎い私にとっては、短い時間ではあるが実に有益な話しを聞くことが出来て、よい番組だなと感謝しているのだが、今朝の細川隆元さんと藤原弘達さんとの対談の毒舌ぶりにはいささか呆れてしまい、そして気分的に落ち着いてから、おかしくなって主人と笑ってしまった。日の出山荘に居られる中曽根総理の悪口にはじまり、このところ豊富な話題を蒔いている健康保険の本人の割負担について、

「猛反対している自民党や医師会の馬鹿どもが…」などと言っている中はまだよかったが、お二人の興奮が山場をむかえ、

「鼻くそのような医師会なんか気に使って、一体政府は何をやとるか? ……」とすごい勢いでまくし立てていたが、よく考えてみたら、あんなに興奮してもし倒れでもしたら、その鼻くそ医師会に属している医者に多分診てもらうのではないかなあと思わず吹き出してしまった。まあ、あのように有名な偉い先生方には、特定の名医の主治医がすぐ隣りの部屋に鎮座ましましておいでの事と思うが…その毒舌ぶりに呆れながらも、あんなに思い切り喋れたらどんなにスカッとするだろうか、とうらやましさを感じた。

他人様から見たら、医者は儲かっていいわねえ結婚するんなら医者か弁護士がいいわ…なんて聞くけど、この何年かのテレビや新聞での医者という職業に対するイメージの悪いこと、少しのミスでもすぐ裁判沙汰になるため、いつも神経をピリピリさせながら患者さんに接している医者の気持ちを解ってもらえたらなあいつも思う。医者は決して神様でもなければ魔術師でもないのだということを……。その証拠には悪徳医師の記事が大きな活字で載っている新聞の同じ頁に、近代医学のおかげで、昔など考えられなかった病気が治った患者のよろこびの記事が、小さな活字で出ているのだから、同じ医業にたずさわる者にとっては実に複雑な気持ちになる。医は算術などと考えず、少しの暇をみつけては勉強している医者だって大勢いる事を世間の皆様には是非知って欲し

いと思う。昔のように医は忍術といわれた時代は、大金持ちからはがっばりと治療費をいただき、困っている人からは、出世ばらいでいいですよ……なんて心の広いところをみせる事もできただろうが、今のように、まさに医は算術で、すべて点数制で計算してお金をいただかなければならない時代なのだから、悪口を言われようが、仕方なく計算機を叩かなくてはならないのである。

あと何年かすると、医師過剰時代が来ると言われているが、たしかにそうかもしれないなあと思う。「あたし、医者はいやだわ、だって生活の保障がないんですもの……」なんて結婚の条件の中の一つに加えられるかもしれない。

いつもこういった番組を見て、何人かの悪徳医師のおかげで、すべて十把一からげでみられる事を悲しく思う。

そうでなくとも、この三月から薬価が下がり、いままでは薬のおかげで少しは儲けさせてもらっていたのが、グーンと収入が減り、従業員の給料は下げるわけにはいかず、いろいろとやりくりを考えている昨今なのに……。でも反対に政府のお偉方だって、我我には想像もできないほどの悪事を堂々として、その揚句大きな顔で開き直っているのだから、そして国民の安全を守る警察官だって銀行強盗に早変わりする人もいるのだから……と、われわれも少々開き直って悔しい気持ちを抑えているのだが……。

みんなが眠っている時間に、目をこすりながら勤務している近くの交番の警察官をみると気の毒になってしまう。そして、この警察官もやはり十把一からげで見られてるのかなあ? われわれと同じなんだなあ。

医師会が鼻くそなら、警視庁は一体何くそかな? もしかして耳くそかもしれないなあ、この日記を書きながら思わず笑いがこみあげてきた。

そして、どんな毒舌を吐かれても、また来週の時事放談を楽しみにしている一人なのです。

細川隆元さま。

夜、スポーツニュースでは、二十年間大活躍した外国人としては初めての力士、高見山関の引退を惜しむ声が大きかったが、とにかく、二十年間ファンを楽しませてくれて本当にごころうさまでした。

マイゴルフ

松原貞一

小生がゴルフを初めたのは、確かオイルショックの前高度成長の名残りの星の未だ消えやらぬ頃であったので、早や、あれこれ10年以上のキャリアということになり、世にいうまともなゴルファーならシングルとまでは行かないまでも、アパレルゴルフとして程々のハンディを頂戴してはいるべきはずであるのに、未だハーフ50が切れず慚愧の涙の止る所を知らぬのはそれにはそれなりの理由があるのである。その昔病院勤務時代昼休みになると職員が大挙して押しかけ順番を待つため列を作るほどの卓球ブームがあったが、そんな折にさえラケットに手を触れようともしなかった凡そスポーツとは無縁な某先輩兼友人が、何を思ったかゴルフクラブを買い込んで来て

「マッツアンもガツガツ仕事ばかりしないで、ゴルフ位しろよ。」

と小曾木か成木の先のハタ・ゴルフという所に連れて行かれて筆をおろしたのが事の初まりであった。芸ごとをはじめよろず物事というのは初めが肝腎であり、これがまともなゴルファーにでも誘われていたらと思うと残念至極で、研究会の帰りなど例の先輩兼友人氏に酒の勢いも借りて、小生のゴルフ不如意は先生の所為と愚痴をこぼし悔みごとを言っただけ嫌な顔をされるのである。ゴルフはコースに出るためには4人が1組になる必要がある。先輩兼友人氏はあたりを見廻し鴨とおぼしき身近かの何人かを誘い込み、立川国際の会員権を買い購める手続きの面倒までみてワングループを作り、やがて全員がピカピカのクラブを手に出掛ける程となった。男と女のことは言うに及ばず、人生人との出会いほど恐ろしいものはない。そのワングループの全員が未だハーフ50を切れず涙を流している所を見ると、小生の腕の上達しないのも矢張り誰かさんの所為に違いないということは、段々確信に近いものになって来た。甚だもって言い難いことではあるが、当の先輩兼友人氏は診察室脇のスケジュール表には日旺・休日毎にゴルフ場の名が赤鉛筆で書き込まれているのに、苦雪10年にして未だハーフ60では納まらず、同伴の奥様達にまで飛距離でも抜かれる程の情けなさ。その彼も手にするクラブはケニー・スミスのオー

ダーメイド、立川の高島屋で申し込み半年後にやっと届いた1組150万はするという代物。弘法は筆を選ばずという言葉など思い出している余裕はなく、金に糸目をつけず出来ることなら何とかしたいと思う気持ちは理解出来ないこともないが、

「先生のは靴も帽子もシャツもバックもクラブも超一流・悪いのは腕だけ」

と練習場の若いアシスタントプロにまで笑われる程の情けなさ、たまに飛んだりすると、さすがケニー・スミスとクラブが褒められる始末。先生が死んだらそのクラブを是非友情の片身にと、今から予約をせがまれている。やはりゴルフは道具ではないという見本が歩いているようなものである。

大抵の趣味、芸ごとというものは、少しうまく行かなくなるとすぐ止めてしまうが世の常なるに、先輩大人をはじめ引きずり込まれた同期の桜全員が尾羽打ち枯しながらも、未だに止めもせず出掛けて行く所を見ると、ゴルフにも目に見えない何かがあるのかも知れない。こんな小生にも、たまのたまには岡本アヤ子か青木功かといわれる程まるでゴルフの神様が乗り移ったかの如く、打つ球うつ球すべてが決って、予期せぬ優勝の挨拶に戸惑った経験もあるのである。遠い昔のことではあるが、人生はずみがつくと何が起るとも限らず、ゴルフも又あの時の如き甘美な味が忘れられず、今だにクラブを手放すことが出来ないのかも知れない。

家人が椎間板ヘルニアの手術をしたりして、今年春からあれこれ多忙のためゴルフ場の方にもすっかり御無沙汰続きであった。此の所家人の容態も漸くひと段落したので、医師会のゴルフ研修会を楽しみにし夢にまでみて北海道へ出掛けて行った。結果は例によつて例の如くと言いたい所であるが、例の如く以下の成績不振で、飛行機の間時間がせまって表彰式の暇もなく飛び出したので、恥の上塗りをしなくて助かった。千歳空港より誰か帰って来ているかなと久し振りに思い出して我が家に電話を試してみた所、意外にも早や夏休みに入ったという豚児が帰省して電話に出て来た。

「パパ、大変だよ、ウチが丸焼けだよ。」

「エエッ、丸焼け？丸焼けって火事か？」

丸焼けの家に電話がつながる訳がなく、聞けば豚児が夕方帰ってみるとガスが点けっ放しになっていて、ヤカンが融けそうになっていた由。そういえば朝5時出掛ける前にお茶を一杯と思ってヤカンに水を入れガス栓をひねったことを思い出す。しばらくして足立先生より

「これから迎えに行くので駅前迄行って待っているように」

との電話で慌てて戸閉まりなどして飛び出して行ったことは覚えているが、ガス栓を閉じた記憶がない。夕方迄無人の家で燃え続けていたらしく、豚児が顔面蒼白となって電話の彼方で怒鳴っているも故なしとしない。よくある話ではあるが、まさかこの俺がと思うと、涼しすぎて些か背すじの寒くなる思いの北海道ゴルフツアーであった。

封じすば 凡べて 生きとし 滅して 地球潰滅 動植物	如何にして 核禍消さんか 全知全能つくして	戦禍 平和への 禱り 一人強む	新任の隊長 地雷死 なせり 我はみとれり	大陸に 迎えずば と 思うも 今は叶はず	坩堝に 書き遺したる 「戦陣記」かなし	思ひ出は 悲しきこと の連続にして	八月は 被爆なしたる 思ひ出月なり	「終戦月被爆月」 小泉新策
核を封じ んこの世界より	今また 五万の核思ふ	戦死 兵団長	墓遺す	包囲されつ	のみ のみなが	原爆の		

～ 戦中日記余白 ～

あの人この人会いたい人

青梅市 近藤 肇

落日と黎明

私は戦争の将来について自分の見聞と判断で悲観的な見通しを立てたとき、資料やメモなどで遺稿集を作った。題して「大東亜の黎明」。実際には大東亜の落日、日本の没落なのであるが、周囲をおもんばかつて反対の「黎明」とした。落日のあと黎明になってほしいとの意味もあった。前号と前々号に書いた「スマトラ紀行」は、この遺稿集や日記などを整理して書いたものである。5年

余りの戦争体験は、特に私のは変化に富んだものだったのでその折々に人との出会いがあり、「あの人」、「この人」、「会いたい人」は多い。

(私の遺稿集「大東亜の黎明」は山田正哉氏の家に一冊あるという。私の父が山田正哉氏の尊父正礼氏に差し上げたものである。)

第一次 上海時代(昭和17年7月-18年6月)
香港攻略戦のあと仏山を中心とした作戦に参加

し、昭和17年7月はじめに南京の部隊本部に戻った私は、部隊本部が私の予期した通り私を必要としなかったので、直ち楊子江上流の安慶支部勤務を命ぜられた。そのとき私は、戦争は長期戦となるからあと4年も5年も召集解除にならないだろう、だが腐った空気のこの部隊はご免だと考えた。そこで策を案じた。部隊長は私が南支へ行っている間に交替になっていた。「前の部隊長殿から、君は成績がよいから現役志願したらどうかと言われていたが、南支へ行っていて志願の手続きをとらないままになっていた。もう締切は過ぎているけれど志願の意志はあります。」と申出た。新部隊長は喜んで「では、申請するだけは申請してみよう。」ということになった。7月22日で現役満期となる直前だから遅すぎるに決っていた。

安慶支部へ赴任のため、楊子江を汽船で遡航し、安慶の阜頭に着くと、出迎えの安慶支部の准尉が「南京の本部から電報がきていて直ちに本部へ帰るように……」と本部からの本部勤務命令を伝えてくれた。折角安慶にきたのに見物もすることなく翌日楊子江を下った。安慶の連中は「おかしなことだな」と怪訝な顔。私は、「まさか現役志願が認められたには早すぎる。だが、特別な計らいで直ちに東京の軍医学校へ入れというのだろうか…」と考えながら、南京阜頭に迎えにきた車で部隊へ。

部隊長のいうには斯うだった。大東亜戦争が始って、上海の共同租界にある英国のレスター医学研究所を接収したが、自然科学研究所がそれを取りたがっている。総軍司令部もそれを手に入れたと思っている。軍として手だけはつけておきたい。「君ならと思って行ってもらう。」ということだった。こういう訳で、私は総軍司令部派遣の監督官として、日本人街と隔絶したガーデンブリッジを渡った租界内での背広の生活が始まった。英国の租界やフランスの租界は、虹口地区の日本管理の租界にくらべたら美しさには雲泥の差がある。「夢の四馬路」の南京路には大きな百貨店や一流の店があり、東京銀座の雑踏、その先はアベニューロードと連らなり、閑静な住宅街にレスター医学研究所がある。研究所は、所長が英国人のドクター・アール、副所長がカナダ人のドクター・リード、多くの研究員は中国人。一人の「日本人」がいると紹介されたのは朝鮮出身でアメリカで学んだという朴氏、ほかに多数の中国人のテクニ

ャン、ピュービルテクニシャンや職員がいた。自然科学研究所からは東大出の細菌学者進藤宙二氏（のちに東大教授）がきていた。

私は研究所の一室に住込み、研究室の一隅で細菌をいじり始めた。バクテリオファージュの研究にとりかかった。バクテリオファージュというのは、ブドー球菌を培養しているとコロニーの周辺に菌が発育せず溶解される部分ができる、その物質をバクテリオファージュというのだったが、この溶菌作用を研究することにした。

そのうちに、それまで赤腕章をつけて生活していた「敵国人」は収容所に入れられることになった。私は彼等とつき会っていたので、所長のドクター・アールはお茶に呼んでくれた。研究所と庭つづきの300坪位の芝生のある二階建の所長宅は、彼の出たあと私が一人に住むところ。彼は所蔵のレコードを私にくれた。私は彼に餞別として20円やった。写真技師のアメリカ人のデント氏、頭の禿げ上がった剽軽者。小柄な金髪の奥さんのある子供のいないこの40才の愉快なヤンキー男は明日収容所へ行くという夜私を食事に招いてくれた。この男も、所長宅の庭の芝生でアール所長やリード副所長と共に私がクロケット遊びをした仲間であった。クロケットは日本であとで流行りだしたゲートボールである。ゲートボールは芝生でやらなくては面白くない。

旧所長宅での私の優雅な生活。暇だから禄なこととはしない。朴さんにフランス租界のハイアライやドッグレースそれに競馬場や中国人街にある賭博場へ連れて行ってもらった。ところがそれからの私はハイアライとドッグレースに入りびたりとなってしまった。現地でもらう給料は全部使い果し、毎月、家族受取りの分まで家内から送らせた。

上海での生活で会った人の中に大本營参謀の辻政信中佐がいた。頭のキレがよく人を引きつける魅力があり、アクの強さがあり、アジティターの素質十分であった。マライからニューギニアと戦争指導の要職にあり軍民から英雄とされていた。たまたま激戦のニューギニアから立ち寄ったのであったが、オーストラリア兵の肉を食べたが胆（キモ）が一番うまかったとか威勢のよいことを言う。私は彼の言動からはとてもついて行けない人間だと思った。彼は関東軍参謀時代にノモンハン事変をひき起し、開戦後は、彼の強引さに押し

(6)

切られて司令官や参謀長は無謀な作戦を強いられ、いたずらに軍の犠牲者を多くしたことが少からずあったことを戦史は物語っている。軍には彼ばかりでなく偏執狂的なエリートが多すぎたし、そういう連中に良識派が追いやられたのが戦争指導の実態であった。軍医では731部隊の石井四郎中將にも私は会ったことがあるが、狂った人間の代表であった。

辻政信中佐が得意になってのオーストラリア兵の胆を食ったとの手柄話を聞いた頃のカダルカナルでは、数万の陸海軍は潰滅し、その中に、仏山からスマトラへ、そしてニューギニアに転進した佐野兵团(第38師団、名古屋編成、師団長佐野忠義中將、陸士23期)がいて悪戦苦闘し、部隊の大半は餓死した。

私は上海を離れるときに収容所にデント氏を訪ねた。別れるとき彼は「しばらくしたら出てくるよ。その時はネ、ドクター…」と、片目をつぶり両手を横にひろげて「日本はバア…」と笑った。

第二次 上海時代(昭和18年11月 - 19年3月)

レスター医学研究所に一年いて、昭和18年6月東京第二陸軍病院へ転属。まもなく命により南方への補充要員輸送部隊附軍医に。途中、上海の揚樹浦の兵站宿舎でパラチフスが多発し4カ月余りも過したとき、教育訓練のほかいろいろな催しや娯楽を考えた。「軍医殿は今度は何を考えるであろうか。」と兵たちに期待された。野球は、隣の上海陸軍病院や、私が前にいた防疫給水部の上海支部の兵隊、兵站宿舎に泊る他部隊の将兵たちと毎週のように陸軍病院のグラウンドを借りて試合をした。私は三振かライナー性ロングヒットの四番打者で一塁手だった。芸達者が多数いたので劇や歌など毎日のようにやった。鳴り物は、楽器らしいのはハーモニカだけ、あとは、薬罐、バケツ、ガソリン罐、醤油樽、茶碗、コップなどであった。

わが部隊に長唄の師匠など芸者が多いということを知った居留民の婦人たちが慰問と称してしょっちゅう訪ねてきたりした。居留民の人から三味線や衣裳を借りて、陸軍病院で傷病兵の慰問として公開公演をやるということになった。バラエティに富んだ芸者が多いので何でも出来た。ざっと次のような人々がいた。

(長唄)小沢駒次郎二等兵 (杵屋佐稀助)

(同)加藤一男 二等兵 (杵屋勝錦吾)

(同)佐野英雄 二等兵 (今藤佐助)

小沢駒次郎二等兵は、落語、俗曲、音曲吹き寄せ等何でも堪能だった。

(講談)松崎秀吉上等兵 浅草の鳶職の親方であったが、神田伯山ばりの玄人はだしのうまさがあり且つ多芸だった。

(衣裳、道具、振付)守屋久通一等兵。花柳章太郎一座の振付係。

(器用、何でもござれ)島居慶禅二等兵、大正大学出の住職。

八木節は群馬県の連中、大漁節は千葉県連中が醤油樽を叩いて賑やか、その他多数。

陸軍病院での演芸発表は好評で、居留民の間から見なかった人が是非見たいという声が増えて、陸軍病院でも将兵で見られなかったものもいるという訳で、出し物を少し変えての好評再演とした。そのときのプログラムを紹介する。

[ガラクター座好評再演]

昭和19年1月30日(日) 於 上海陸軍病院
午後1時開演

企画・監督 近藤軍医中尉

演出 木内少尉

振付・装置 守屋一等兵

- | | |
|------------------|-----|
| 1. ガラクタ音頭 | 10分 |
| 作詞・作曲 近藤軍医中尉 | |
| 振付 守屋一等兵 | |
| 2. 漫芸寄席集め | 60分 |
| 3. 名月赤城山 二幕三場 | 30分 |
| 作 ガラクター座制作部 | |
| 休憩 | 10分 |
| 4. 番外 お楽しみ | 40分 |
| 5. 長唄 日本舞踊 | 15分 |
| 6. 弥次喜多出征道中の巻 九景 | 90分 |
| 作 ガラクター座制作部 | |

ガラクター座の名演技に居留民の中には涙を流す人も多数いた。

この日限り、どんちゃん騒ぎはやめて引きしめた。パラチフス保固者はなくなり、いつでも出発できる態勢を整えなければならないからだ。

2月9日、木内少尉の率いるジャワ行の補充兵が出発し 3月9日に残りが出発した。早頭に世話になった居留民の方が我々を見送ってくれた。呉淞路の永見充さん、乍浦路の高木キクさん。そ

れに兵たちがお世話になった宿舍裏の慰安所である羽田別荘のおばさんたち。皆さん無事引揚げられたでしょうか。

浦安時代(昭和19年10月-20年2月)

昭和19年秋、南方輸送から帰って間もなく東京第二陸軍病院から、硫黄島へやられる編成部隊に配属された。船がないため何カ月も浦安に駐留した。明治の三八式野砲を馬で挽く骨董品部隊である。兵舎は浦安小学校。

たまに青梅へ帰った。ある月曜日の朝、いつものように錦糸町の駅からバスに乗り葛西橋終点で降り、橋を渡ると警戒警報が鳴った「急げ、急げ、」とばかり直ぐ目の前にある道路脇の馬の繋留場の先の小学校の部隊目指して走り出した途端に、ドカン。私は思わず道路から田んぼ側に身を寄せ伏した。ドカン、ドカン、とつづけて幾つかの爆弾が落ちた。顔から全身に泥だらけになった。B29の爆音の去るのを待ち、部隊に向かって行くと、馬が血みどろになって斃れており、頭から軍服泥だらけの兵が数人、うち1人は田んぼの泥で全身がすっかり埋ったと。田んぼの向うのお風呂屋は直撃を受けて家族が死んだと後で聞く。

この頃から敵は低空で進入してくるので日本軍のレーダーでは捕えられず、いきなり警戒警報から空襲となることが多くなった。

ある日のこと。医務室裏にある文房具屋の小学2年の女の子が、町の医者にかかっているが熱が下らないから診て貰いたいと、兵がその家族から頼まれて私に伝えた。「町の医者に診て貰っているのならそれでいいじゃないか。俺なんか行っちゃって……」と断ったが、「軍医殿、是非にと申しております。」と今度は下士官の伍長がいう。隣の家へ行ってみると、女の子は高熱は高熱だが、意識がはっきりしない。せん妄状態で、暴れて診察できない。一体何だろう。

医務室へ戻り、ルンバル針とスルファミンの注射のアンブルを持ってきた。女の子の暴れるのを兵達が生懸命押えて坐位にして私はルンバル針を刺した。うまい具合に一発で入り、リコールがタラタラと滴下した。圧を測る器具はないから液圧は不明。スルファミンを入れた注射筒を差し込もうとした途端、女の子が身体をくねらせて、ポキッとルンバル針は腰の中で折れてしまった。

「あ、弱ったことになったなあとは私に「どうも申訳ありませんでした。」と謝まり、取敢えずフェノバルビタールを注射して裏庭を医務室に戻った。見習士官(千葉の臨時医専出の菊地勇氏)に「だから、俺は気が進まなかったんだ」と後悔。「あれ、入りきりでどうなりますかねえ」と彼。ところが、その翌日にその女の子は正気になり、2日後にすっかり治ってしまった。

「軍医さん、命の恩人です。」と父親は附近で捕れた鰻を蒲焼にして持ってきた。

戦後十数年、その父親の関口岩太郎氏は亡くなるまで毎年海苔を送りつづけてくれた。昭和26年に、父娘は私のところへきた。「ええ、とても丈夫で、腰も何ともなく成績もよいし、中学で走高跳の選手をしています。」ということだった。

その後、その娘さんは千葉の方へ嫁いだとの便りを貰った。いまは50才近いおばちゃんだろう。

茂原時代(昭和20年2月-終戦)

船がないため硫黄島へ行けないまま浦安で待機したあと、敵の九十九里沿岸上陸に備えて部隊は昭和20年春、房総に移動した。本部を茂原町の西4キロの永吉村の小学校においた。私は医務室に居住、部隊長は徳川時代からの眼科医である旧家九州帝大出の千葉弥次馬氏宅に下宿した。弟は代議士の千葉三郎氏、千葉県の名門。

上総一の宮から大東岬にかけて陣地を構築した。おんぼろ野砲に加えて部隊長の中佐以下全部召集のおんぼろ部隊。鶴舞町に司令部をおいた師団の装備も頼りない。敵がくればあつという間に突破されて東京はやられるだろう。

私共が行く筈だった硫黄島は2月19日に敵上陸、3月1日に司令官以下最後の突撃で玉砕。4月1日には敵は沖縄に上陸、最後の兵まで闘って全滅したとされた6月21日に米軍は完全占領。次は、九州か?相模湾か?九十九里か?

前年11月20日の本土大空襲以来、東京は焼野原、となりつつあった。

3月20日夜には父の芝にある病院、4月13日夜には家内の目白にある実家、引きつづき5月25日夜には銀座の店がやられた。

昭和19年10月、敵がヒリピン島のレイテ島に反攻して以来、私は医務室で皆にその都度、新聞や大本営発表が威勢のよいことを言っている中で、悲

(8)

観的な見通しをしてきた。「大尉殿、今度はどうなります？ 今まで、おっしやる通りになってきましたが……」と下士官兵は私に訊ねたりした。シンガポールで、昨年6月22日連合軍がノルマンディーに上陸したとき私は日本の命運を決めていたから必勝を信ずる将兵にとっては私の言動は奇異だ。私は憲兵隊に捕ったって構やしないと開き直っていた。

味気ない日々だった。希望のない毎日の連続だった。春から夏になった。

その間、青梅でも、4月20日には、B29の1機が吉野村柚木の愛宕山に落ちて捕虜を捕えた騒ぎがあり、7月29日にはP51戦闘機の1機が東青梅に停車中の電車めがけて銃撃を加え氷川の少女が即死した。8月1日夜には八王子市は爆撃されその焔は青梅地方からみて南の空が真っ赤に染った。敵のビラに次は青梅をやると予告した。

8月6日。大本営は敵が広島に新型爆弾投下と発表した。

8月8日。ソ連は、日ソ不可侵条約を無視して満洲に侵攻してきた。

8月9日 長崎に敵は二度目の新型爆弾を投下。

8月15日 朝のうちから、正午に天皇陛下の放送があるという予告があった。全員整列して放送を待った。放送は雑音で聴きとれなかった。「朕は堪えがたきを忍び……」のくだりがそれらしく私の耳に入った。何だかサッパリ判らないという顔をしている兵たちに私は「日本は負けたんだよ。」と言った。

小学校へ行くと、女の先生が泣いていた。私は講堂でオルガンを叩いたり歌をうたったりした。「軍医さんは戦争に負けて頭が狂ったのではないかしら…」と女の先生が噂していると兵が私に告げた。

それからときどき、講堂でオルガンを鳴らしていたが、そのうち、軍医さんは頭が狂ったのでは……と言った女の先生を含めて、2人3人と寄ってきた。その中で特に親しみを感じた先生がいた。その先生が歌う 浜辺の歌は良かった。

彼女は、隣村たる八積村の家へ私を招いてくれた。両親たちと共に夕食をご馳走になった。あとで彼女は両親から「たとえ妻子があっても軍医さんは男の人だから注意なさい。」と言われたと。

それから誘うとも誘われるともなく、彼女の帰

り道を二人は共に自転車を押しながら歩いた。

「日本はどうなるかしら？」と彼女は歩きながら私に問いかける。「そうだねえ、伝統とか習慣は毀れてなくなるだろうね。日本的なものの価値はなくなるんじゃないかね。日本は日本でなくなり日本人は日本人ではなくなるだろう。それが歴史というものじゃないかなあ。」と私は言った。

雨もよいの午後、二人は野道で落ち合って自転車を引ながら小川のほとりに出た。草むらに腰を下ろして水の流れに目をやり、たれ込めた低い雲、ゆれる稲穂を見ていた。やがてポツポツと雨が落ちてきた。雨足が強くなったが二人は去ることもなく、一つの傘に互いに身を寄せた。雨にけむる中、浜辺の歌をうたった。荒城の月をソプラノとテノールで2部合唱をした。「将来、子供さんたちと家族で合唱できたら素晴らしいわね。」と彼女は言った。

9月8日、私は復員した。

彼女とは、お互いにぬくもりを心に残して別れた。あれが恋だったのだろうか。彼女の名は……。"鬼島良子"「何」もなかったからここに名を書くことを許してくれるだろう。会いたい一人である。

く ら 汗 に じ み み 出 る レ ン ト ゲ ン 室 か な	終 戦 の 日 は 近 づ き ぬ 三 色 の な り	涼 風 の 朝 さ わ が し く 日 中 は 犬 と あ ひ る は 木 陰 に ね む る	「炎 暑」 鹿 野 純 一
---	--	--	----------------------------------

「ビルマ戦跡慰霊巡拝団に参加して」

マスダ印刷 増田元助

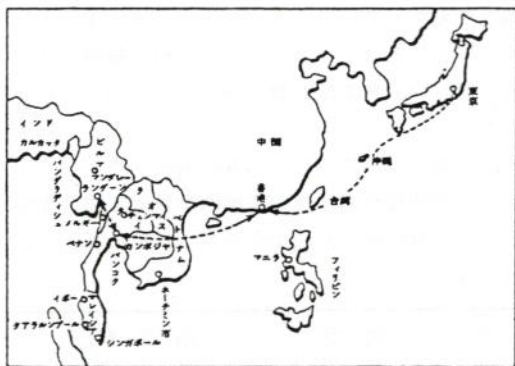
まえがき

昭和50年1月、丸茂三千穂先生の御紹介を載きまして西多摩医師会報の印刷をお引受致し、諸先生方の御指導を載きながら今日迄約10年、お引立を賜っております。

2～3年前迄続いた「終戦前後」を拝読し先生方も軍医として各地で大変ご苦勞された様子が偲ばれました。此度近藤肇先生の「スマトラ紀行」を拝読し深く感銘致しました。8月号は文芸随筆特集号で関係者の投稿希望の記事を拝見し我が社も創立20周年を本年9月迎へますので凶々しくも記念に投稿させて頂き、55年2月ビルマ巡拝団の記録をお仲間入りさせて頂きました。

《メルギー会》 ビルマ戦跡慰霊巡拝団

昭和55年2月22日(土)～2月29日(日)



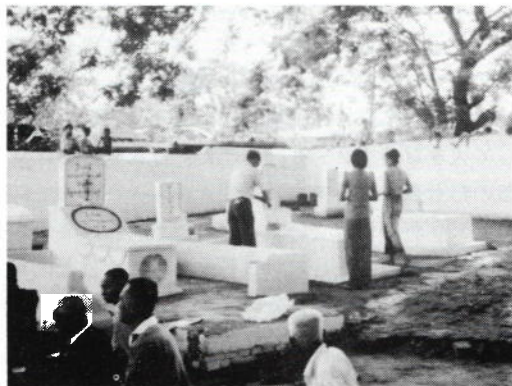
主催：メルギー会(独立歩兵159大隊戦友会)

兵役 昭和18年4月10日、現役兵として満開の桜の赤坂六本木東部六部隊入隊、第一大隊三輪隊(旧津田隊)機関銃隊、自動砲班に配属、同中隊に声優桜井長一郎、本部に俳優故佐野周二(開口軍曹)両氏も居りました。

1期の検閲も終え御守衛教育の途中で溝ノ口の第62部隊に御守衛が移り留守隊となり同年10月本部隊のスマトラに追援と決り、甲府の63部隊で5日間、スマトラ行部隊編成、女優栗島すみ子さん率いる、水木流日本舞踊団の「明日はお立ちか」

等に送られて甲府を後に門司で民家に分宿、土地の女子青年団、婦人会等の演芸で2晩つづきで慰問を受け日本とお別れ。

門司より1万屯級以上、12隻の船団で堂々と出発、台湾高雄沖定泊、給水燃料補給果実積込。マニラ沖で米潜水艦に魚雷攻撃数回有りしが無事、11月10日、12日ぶり、シンガポール上陸。



このような大船団はその後終戦まで無かったと聞く、シンガポールの大きな建物には日の丸の旗が翻翻とひるがえり沿道の各戸にも日の丸が、又子供達が小旗を振って出迎えてくれた、祖国を遠く離れた南の国迄、我が日本の国威が及んでいるのを見てその時は「よくぞ日本に生れたる」の感を強くした。(小生当時22歳)シンガポールの中兵営に着いたら部隊長が変り「ビルマ」行、甲装備、中隊に重機関銃が5台もふえた、10日程滞在マレー半島のバタウオスに3日間またもや宿泊、当時この辺は米が不足して居て、三食炊事の溝に流す残飯を現地人が順番で網ですくい多い時は20～30人も列を造って並び1日目より2日目と人数がふえ40～50人も並んだと言う、その中に毎食後、戦災孤児の11～2才の(印度系のマレー人)子供3人を皆が哀れと思ひ「軍隊はビルマ」に行くけどお前達も行くかと問うと3人共口を揃えて「連れて行ってくれ」と言う、早速大きい体の子を「大政」小さいのを「小政」強そうなのを「石松」と命名、以来2年間通訳兼炊事手伝いとして終戦迄よく軍に尽してくれた。21年9月復員まで私の軍隊生活4年半である。

あれから幾星霜55年2月22日ビルマ慰霊墓参団に14名参加、成田発、タイ航空ジャンボ機で香港経由〜バンコック着(約9時間)ビルマ・タボイ迄(約1時間)目的地メルギー迄(約1時間)計11時間の戦時中大船団で米潜水艦に脅えながら九州の門司を出て12日もかゝってシンガポールに着いたのが夢のような気がする。

35年ぶり懐しのメルギー上空、操縦士の好意で2回旋回、戦事中無かったドリヤンの美味しい島バトウ島に大きな寝像が出来た、家並も大分込んでいるようだ、此処で青春時代を3年過したのだ、そう思うとなんだか涙が知らずに出て来そう、ふり向くと皆同じ思いのようだ。着地して多勢の出迎えを受けたがその暑いこと40度近い、一行中新潟の戦友が待合室の弾痕がそのままあるので興奮して大きな声を2〜3回あげた、此の男は後に墓参の時も墓石の前ですすり泣きから大きな声で号泣と云うか10分も泣いて居た。雨季を避けて居るので毎回墓参は1月末か2月末なので、日本の真冬からビルマでも1番暑い時に行われて来た、戦事中は当地メルギーは人口7万弱、現在20万とふくれ上りタイ国との密貿易で栄えていると聞く、因みに20万の人口に対して冷蔵庫のある家10軒、水道の引いてある家12軒位と資産家か食料関係、お医者さん等(お医者さんが全市で4人)歯医者さんなど街頭でポロ椅子に患者を座らせ、昔閻魔さんが使ったような大きな道具で歯を抜いている。大の男が大粒の涙をポロポロ、余程の事が無い限りお医者さんに罹らない。前任地ビルマ突端のビクトリアポイントでは毒蛇に咬まれ2〜3時間で死ぬと親戚を呼び集めて居る処へ帝大出の荻衛生兵が通りかかり、咬まれた男児の足から自分の口で毒を吸い取り消毒して適切な処置を施したので人命救助、この家族から部落民に至るまで日本軍に対する信用はその後絶大さのものとなった。我が部隊の自慢をすると兵、下士官で大学卒が13名、機関銃隊7名と我が中隊がインテリ中隊No.1、部隊長(大佐)が機関銃隊に20日後視察に来ると云うので猛勉強、見えた日に何んでもスラスラと答が出たので、さすがインテリ中隊だと褒められた。

メルギーに着いた日は明日の墓参に供えて先づ下見、奇麗に掃き清められている、これは毎回土地の資産家ウーバーさんの御厚意で墓地の中に現地人1家族が墓守りに、塀が低くて野放しの牛、

子供が入って困るので部隊の生き残りでセメント代として金を送り、ウーバーさんのお骨折で57年暮完成。58年9月、お礼にウーバー夫妻をビルマより招待現地の戦友が京都、奈良を2日間ご案内、日光、銀座通りを東京の戦友が案内、最終日河口湖畔のホテルに全員集合、御夫妻に感謝の宴を催し盛大に終了。ご夫妻が日本へ来て一番驚いたのは銀座通りの賑やかさと建物が皆立派であることだそうです。

又墓参の折前述の「小政」が現われ当時の14歳が50親父になって元気で「ニホン」上等ない「ニツボン」上等と手を握り合い日本軍と暮らした2年半で人間の生き態を覚えた(当地方は平均寿命47〜8歳)今でも自動車修理工場主で活躍中と又1中隊の石井兵長の彼女だと云うばあさんが娘と孫娘2人を連れて50k先の部落より1日がかりで現れ鶏5羽、椰子の実10個卵30個干海老3Kgも4人掛りで持って来てくれたのには驚いた、石井兵長は来ないのかとしきりに悲しがる、終いには6才の孫を日本へ連れて行けと言う「参いった、参いった。」後で聞いたが石井兵長は復員2年後交通事故で死亡しているとか、ビルマ・タイ国の主都を見学して寺は(バゴダ)立派だが一般庶民は非常に貧しい、日本は有難い国だとつくづく思いました。

55年春ビルマで写した写真の中にブウゲンピリヤの花が何枚かあったのを家内が覚えて居て青梅の市内で買い求めた花が今年もキレイに咲いております。

仮	復	忍	乏	朝	こ	女
泊	員	辱	し	○	も	王
○	遠	の	き	終	け	果
マ	し	日	に	戦	に	鳴
す	わ	笠	か	後	戦	く
ベ	が	異	な	ビ	友	野
ニ	沖	夏	し	ル	の	鳩
マ	に	衣	に	マ	飛	の
ニ	て	色	畑	残	行	声
ラ		褪	を	留	機	や
湾		せ	打	隊	ま	仏
頭		ぬ	つ	一	だ	桑
夕				年	見	花
焼					え	る
け						
ぬ						

各部より

ビデオに関するアンケート 報告

学術部 塩澤 永康

過日施行しました標記アンケートの集計の結果を報告させていただきます。

I ビデオデッキについて

1. 持っている a VHS 6名
b ベーターマックス 9名
2. 持っていない 6名

II 如何に活用していますか

- イ 娯楽 8名 ロ スポーツ 3名
ハ 教養 3名 ニ 学術 4名
ホ 記録 4名
へ その他 趣味の修得(奇術) 1名

III 当医師会でビデオテレビを購入しました。

活用方法について

- イ 日本医師会、フジサワのビデオカセットの希望するものの番号を書いて下さい。いくつでも結構です。(配布の小冊子参照)

全部 1名、肝臓の項全部、虚血性心疾患の全部、ウイルス肝炎全部 1名

54集 臨床医のための高血圧(41集以後のものが多い) 1名、沢山ありすぎて……1名、

4116, 4308, 4309, 4310, 4313, 4314, 4320, 4322, 4407, 4413, 4423, 4620, 4622, 4624, 4701, 4704, 4707, 4708, 4712, 4910, 5003, 5004, 5006, 5007, 5008, 5009, 5011, 5014, 5016, 5020, 5025, 5114, 5123, 5128, 5230, 5131, 5116, 5117, 5206, 5301, 5302, 5303, 5306, 5308, 5310, 5311, 5312, 5315, 5316, 5318, 5319, 5320, 5321, 5323, 5324, 5325, 5403, 5404, 5405, 5406, 5407, 5408, 5409, 5412, 5413, 5414, 5415, 5416, 5417, 5419, 5420, 5421, 5422, 5423, 5424, 5425, 5426, 5427, 5428, 5501, 5502, 5516, 5519, 5520, A-16, A-17, M-4, M-5, M-7, 以上 2名

以下 3名 4311, 4321, 4325, 4612, 5001, 5002, 5005, 5012, 5013, 5015, 5017, 5018, 5019, 5022, 5023, 5024, 5026, 5104, 5118, 5129, 5309, 5314, 5317, 5401, 5402, 5411, 5418, 5429, M-1,

以下 4名 A型肝炎の診断と転帰:市田文弘
B型肝炎の診断の診断と転帰(1):市田文弘

- ロ 今後どのように活用したらよいか御意見、御希望などをお書き下さい。

○医師会にストックして貸出して欲しい。

V. HS. ベーターマックス両方あるとよい。

- 講演会などに併せ使用。
- ビデオの映写会をする。定期的に月一回位。
- 一定の話題を通して見る機会をつくる。
- 将来は医師会行事の記録なども。
- 医師会行事の合間(選挙の投票の間など不可能か)
- 学術ビデオを全部テープコピーしたら如何でしょう。いつでも会員が医師会館に行き見られるように。
- 医師会館で全部見ることは不可能なので、医師会でもう一台ビデオを買い、ダビングして安く配布すれば、家庭で見られ、ダビングの手料は医師会の収入になって一挙両得。

附記:取引している「薬の間屋」さんをお書き下さい。

スズケン 7名, 酒井, くらや, 東邦, 福神, 6名, 東京医薬品 5名, 大森 3名, 北陸, 本郷, 2名, 杏林, 倉田, 高田, 1名

以上

ご協力下された方々には、厚く御礼申し上げます。大変残念なことですが、回答下された方は、僅か18名で回答率12%に過ぎず 関心のなさに恐かされました。

本年度は希望の多かった、A型肝炎の診断と転帰:市田文弘(新潟大内科) B型肝炎の診断と転帰(1):市田文弘、ウイルス肝炎の予後:市田文弘、肝不全の治療:織田敏次(東大内科)、胃のX線診断:白壁彦夫(順大内科)の5種類をフジサワより借用し、ダビングして医師会に保管し活用することを考えております。十二分にご利用下さるようお願い申し上げます。

尚、上記番号4100代は新聞発医療技術、4300代肝臓、4400代は微小循環、4600代血液の形態と機能、4700代メンデルから遺伝子操作まで、4900代核医学、5000代虚血性心疾患、5100代虚血性脳血管疾患、5200代ホルモン受容機構とその異常、5300代ウイルス肝炎、5400代臨床医のための高血圧、5500代臨床医のための整形外科を表しています。

学術部

学術研究会の老人病シリーズの第1弾、「整形外科領域に於る老人病（特に腰痛、神経痛を中心に）」について、7月12日、西医会館に於て

河路 渡先生（杏林大学整形外科教授）の講演がありました。

多数の会員の参加があり、わかり易い講演内容でもあり、大変有意義な研究会でした。

（足立）

老健法ヘルス事業のその後

公衆衛生部 松原貞一

昨年2月発足した老健法による保健事業の内、一般健康診査は今年2年目に入り漸く初年度の実施状況が纏められた。法の精神から実施主体は区市町村ということで、各市町村はそれなりに工夫をこらし特色を出そうとして実施体制は区々になることは予想されていたが、余りにその差の大きいのに驚かされた。23区で40才以上で対象者中最も健診率の高かったのは江東区の45.3%最低は江戸川区の14%であった。西多摩地区では最高は檜原村の22.3%・最低は福生市の3.4%であった。精密診査は23区では大体一般診査受診者の半数が精査に廻っているが、最高は杉並区の96%であった。西多摩地区では精密診査に廻った中最高は青梅市、奥多摩町の58%で、最低は瑞穂町、日の出町の13%であった。又西多摩地区各市町村の今年度の実施計画をみると、実施要領は昨年同様で多少実施予定数を増加させているに過ぎない。

機能訓練は、現在実施しているのは五日市町、日の出町、奥多摩町で特別養護老人ホームに事業を委託して実施している。羽村町は現在コミュニケーション・センターという舌を噛みそうな名の建物を建設中で、60年度開設を目ざしているし、福生市、青梅市も61年実施を予定している。東京都は、機能訓練モデル事業と称して八王子市に施設を作り、6月1日より実施し始めた。事業の対象者は「都内多摩地区に居住地を有し、居住地の市町村長から紹介のあった、八王子保健所に通所可能な40歳以上の者であって、次のいずれかに該当する者とする。

1. 医療終了後も継続して訓練を行う必要のあるもの
2. 身体機能や精神機能に支障があるとも拘らず、必要な訓練を受けていないもの。

3. 「老化などにより心身機能が低下している者」となっており、現在開設したばかりでめずらしさもあってか60数名の申し入れがあり、都は予想外の多さに驚いている。実施回数は週2回6ヶ年を以って1クールとしている。羽村町のコミュニケーション・センターも似たような内容の施設となりそうであるが、医療における機能訓練と変る所がないようである。実施要領には、「訓練の内容は、医療として行われる機能訓練と異なり、おおむね次に掲げる社会的機能訓練を中心とした訓練とする。

1. 歩行、おき上りなどの基本動作の訓練
2. 食事、衣服の着脱などの日常生活動作の訓練
3. 習字、絵画、陶芸、皮細工、紙細工、くみ紐編など手工芸
4. 「レクリエーション及びスポーツ」となっており、基本的には独りで生活出来るような状態を目標としている。出来れば寝たきり老人が起きられるようになるとか、食餌を食べさせてもらっている老人が自分で食べるようになるとか、おむつの人が何とかポータブルの便器にかけられるようになるなどが目標となり、歩ける老人にはゲートボールが出来るようになれば最高に目的が達せられたと考えてよいのではないかと。

老健法の事業の一環として、保健所の老人精神衛生相談指導というのがあり、西多摩地区では福生保健所が今年度より事業を始めることになった。目的は、「保健所における精神衛生に関する業務の一環として、老人及びその家族に対し老人痴呆疾患などに関する相談指導などを積極的に推進し、もって老人の

精神衛生の向上を図るとともに老人の健康状態に対する家族の知識と理解を深めることを

目的とする」とあり、要するにボケ老人のケアについての相談指導を行う事業である。

高木直二郎先生に荣誉ある警察協力章

35年にわたる青梅警察署に対する協力で高木病院理事長、高木直二郎先生が警察協力章を受賞した。

同章は防犯、交通安全、犯罪鑑識などで20年以上の協力者、さらに警視総監賞をはじめとする受賞者が受賞対象となるもので、現在まで全国で108名を数えるのみである。今回は全国で6名で、青梅市からは勿論はじめてであり、7月3日警視庁において総監より授与された。

先生は昭和9年東京帝大医学部卒、伝染病研究

所で結核に取組み、戦中は陸軍航空技術研究所（立川）で航空医学を研究、医学博士。昭和23年まで立川病院内科部長を勤め、現在地に高木医院を開業。また高木病院理事長として地域医療に活躍しておられる。

なお昭和38年、46年警視庁交通部長賞、49年警視総監賞、52年交通荣誉銅章、56年青梅警察署長感謝状を受賞しており、重ねて今度の栄えある受賞となった。

（西多摩新聞7月15日号より、村山）

5月分

診療報酬明細書返戻状況

返 戻 理 由		医 科 (乙表) 件 数			
		西多摩	青 梅	福 生	秋 川
1	保険者番号、記号○番号、公費負担者番号、公費受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	32	19	6	19
2	旧証の記号○番号	5	7	3	3
3	患者名、生年又は生年月、転帰のもれ	0	1	1	0
4	傷病名のもれ	1	0	0	1
5	診療月分、診療開始日、診療実日数のもれ	3	4	3	0
6	診察料（初診、再診、往診、指導日又は勝間外等の表示）のもれ	6	2	2	0
7	診療月と診療開始日及び初診料の不一致	6	12	3	5
8	診療実日数と診察回数又は処方回数の不一致	11	13	3	2
9	投薬○注射（薬名、規格単位、用量、回数）の不備	3	1	3	1
10	処置○手術○検査○X線（薬名、回数、内訳）の不備	0	1	0	0
11	入院料の不備	0	0	0	1
12	点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明	2	1	9	0
13	契約外（国保、国鉄、公費）	1	0	0	0
14	症状詳記（診療内容及び方針の説明等付せん参照）	3	3	1	0
15	申し出によるもの	6	0	0	0
16	その他	1	0	1	1
	計	80	64	35	33

- 8月8日 法律相談
- 24日 学術講演会
- 26日 囲碁会

会員通知

- 会報
- 諸会費ご納入について(59年第2期分)
- 学術研究会開催
- 日医が行う59年度(第18回)臨床検査精度管理
- 調査の実施について
- 病院・診療所の特別査察実施結果について
- 特定の医療法人に係る承認基準及び民法第34条の規定により設立された法人の行う医療保健業のうち収益事業に該当しないものの要件の取扱いについて
- 薬価基準の一部改正について
- ボツリマス毒患者の発生について
- 小包装医薬品の円滑な供給について
- 「東京都医師会学術講演会」の開催について
- 第15回全国学校保健、学校医大会の参加申込み
- 日本薬局方の一部改正
- 青梅総合病院宿日直表(8月分)
- 医療保険の手引 正誤表
- 「日本医薬品集」の案内書

同好会だより

第42回西医ゴルフ研修会

今年も昨年に続いて、7月14日(土)、15日(日)の両日、北海道は札幌G.Cの輪厚コースおよびユニコースにて開催されました。

心配された天気も快晴にこそならなかったものの、まずは快適なゴルフ日和りに恵れ、林先生のハーフ30台をはじめとして、好スコアが出ました。

初日(14日)の夜は盛大な夕食会を開き、海の幸とビールで大満足のあとは自由行動となり、各人それぞれ楽しい一夜を過ごされたようですが、今回は夫人同伴が多く(高水、川崎、大河原、杉本、内山の各先生)比較的早寝をされた先生が多かったようです。小生は今年もまた待望の「お風呂」にも入る時間がなく残念でした。来年こそは……。(足立)

	輪厚	ユニ	G	HD	N		新HD
林	91	79	170	26	144	優勝	10
鈴木	87	87	174	28	146	準優勝	13
足立	101	92	193	36	157	3	17
大河原(周)	103	106	209	48	161	4	
杉本	97	105	202	40	162	5	
押	102	94	196	32	164	6	
大河原(鏡)	121	121	242	72	170	7	
内山(大)	99	104	203	32	171	8	
松原	104	109	213	42	171	9	
内山(淳)	117	123	240	66	174	10	
川崎	126	118	244	54	196	11	
高水	106	N,R					
工藤	103	N,R					

第113回 西多摩医師会ゴルフ大会

昭和59年4月30日 立川国際奥多摩コースで行われた。成績は下記の通りで、秋山先生が初優勝で、カップ取りきり戦でも優勝カップを獲得した。

氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット	ランク	新ハンデ	
秋山	49	41	90	24	66	優勝	18	
大河原	45	47	92	23	69	2	23	
内田	44	40	84	12	72	3	12	BG
足立	46	44	90	12	78	4	18	
松原	51	47	98	18	80	5	21	
内山	47	45	92	9	83	6	16	
江本	55	49	104	10	94	7	18	BB
林	56	49	105	8	97	8	13	

大会終了後、ゴルフ部総会を行い、会計報告が承認され、新役員が選出され、ハンデ改正が行われた。新役員は下記の通りです。

- 顧問 高水 尚次回よりカップ取切戦の
- 部長 江本 参加資格は、2年間の優勝者
- 幹事 鈴木 及び5回以上出席者とするこ
- 足立 とがきまりました。
- 林

第114回 西多摩医師会ゴルフ大会

あ と が き

昭和59年6月24日 立川国際草花コースで梅雨の合間をぬって行われた。笹本先生が初優勝した。成績は下記の通りであった。

氏名	アウト	イン	クロス	ハンデ	ネット	ランク	新ハンデ	
笹本	54	47	101	30	71	優勝	24	
大嶽	42	45	87	14	73	2	13	BG
足立	44	48	92	18	74	3	17	
内山	48	44	92	16	76	4		
江本	49	46	95	18	77	5		
杉本	54	52	106	20	86	6		
江本J	37	39	76					
内山W	51	52	103					

家族と一諸に青梅に戻り、開業を始め5ヶ月が過ぎようとしています。自然の多い環境は、非常に気分を落ち着かせてくれますが、外来患者さんを診察する度に、会話、態度から改めて、地域医療又家庭医的要素の大きい事を感じるこの頃です。

会報編集委員も命じられ戸惑っていますが、会では村山委員長を中心に、より良い会報作りの為の、積極的な意見の交換があり、私としては、よい勉強をさせていただいています。

10月号より、「症例検討」の新企画もあり楽しみです。

(小林)

8月号を編集して

村山正昭

①巻頭には宮川先生の「芍薬の花」を飾ることができました。作品の花の色合いを印刷紙に写しとることは不可能と考え、背景の青色に視線を定めシャッターを切りました。83年4月号に波多野先生の作品を掲載しましたが、それと同じ手法によるもので小生オリジナルの撮影法です。

②昭和19年5月から7月までの戦中日記のなかで近藤肇先生は軍医としての立場の裏に私としての視点を失わず、軍政地の「日本」のあり方を鋭く観察しておられる。この19年3月はインパール作戦が開始された時期でもあり、本年6月岩波新書として発行された。丸山静雄著「インパール作戦従軍記」を読んで、ビルマ方面軍の思想と行動がいかに無謀であったかを改めて認識した。著者はフリーの従軍記者であったため冷静に観察することができたのであろう、近藤日記にも観察者の目が生きており、歴史を語り継ごうとする決意がよみとれる。マスタ印刷・増田氏からも貴重な原稿をいただいた。ビルマ方面での御苦勞は想像を絶するものがあったと思うので、またの機会に寄稿をお願いしたい。

③9月号巻頭には福生病院長、大久保憲二先生に執筆いただく予定です。編集委員会では「病診連携」というテーマを追求していくつもりです。開業の先生方には、広域医療圏の設定という重要課題を目前にして、一次、二次、三次という機能分担の方法論について具体的な発言を期待します。



関東医学検査研究所

本社研究所 埼玉県所沢市岩岡町281-58

TEL. (0429) 23-7272 (代表)

東京営業所 Tel(03)979-3261 西東京営業所 Tel(0425)65-0072

特殊検査のルーチン化を目指す

主要検査項目

内分泌機能検査
 生化学検査
 薬物検査
 微量金属代謝検査
 免疫血清学検査
 ウイルス検査
 血液学的検査

関東医学研究会グループ

関東医学検査研究所 埼玉県所沢市岩岡町281-58
 埼玉臨床検査研究所 埼玉県鴻巣市天神三丁目673
 群馬臨床検査センター 群馬県前橋市六供町1360-1
 東京臨床検査研究所 東京都板橋区徳丸4-14-18
 セントラル・ラボラトリー 東京都中央区日本橋兜町12-7

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)

東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)

青梅支店 (TEL 04288-3-2515)

奥多摩特別出張所

福生支店 (TEL 0425-51-1021)

村山支店 (TEL 0425-61-1211)

五日市支店 (TEL 0425-95-1311)

河辺支店 (TEL 0428-24-2401)

高田東栄薬品株式会社

国立営業所

〒186 / 国立市富士見台3-2-5 / 電話 0425 (75) 5200 (代)

本社 〒111 / 東京都台東区鳥越2-13-8 / 電話03(866)4251 (大代表)

浅草営業所 〒111 東京都台東区鳥越2-13-8
電話 03 (866)4251(大代)

大塚営業所 〒170 東京都豊島区北大塚2-16-8
電話 03 (917) 0111 (代)

世田谷営業所 〒150 東京都世田谷区弦巻1-1-12
電話 03 (424) 1321 (代)

足立営業所 〒123 東京都足立区梅田7-23-10
電話 03 (880) 6311 (代)

平井営業所 〒124 東京都葛飾区西新小岩3-25-17
電話03(692)2141(代)・(696)8761(代)

大田営業所 〒143 東京都大田区南馬込5-29-3
電話 03 (777) 6141 (代)

豊玉営業所 〒176 東京都練馬区豊玉北1-1-20
電話 03 (993) 3331 (代)

千葉営業所 〒280 千葉市都町1-20-17
電話 0472 (32) 2521 (代)

松戸営業所 〒270 千葉県松戸市小金原9-34-1
電話 0473 (44) 1285 (代)

大宮営業所 〒330 埼玉県大宮市吉野町2-234-1
電話 0486 (66) 2351 (代)

深谷営業所 〒366 埼玉県深谷市東方3516
電話 0485 (71) 2171 (代)

狭山営業所 〒350-13 埼玉県狭山市新狭山1-5-8
電話 0429 (53) 9261 (代)

越谷営業所 〒343 埼玉県越谷市神明町2-1
電話 0489 (66) 5353 (代)

病院部 〒111 東京都台東区鳥越2-13-8
電話 03 (866)4251(大代)

特販部 〒111 東京都台東区鳥越2-13-8
電話 03 (866)4251(大代)

臨床検査センターの雄

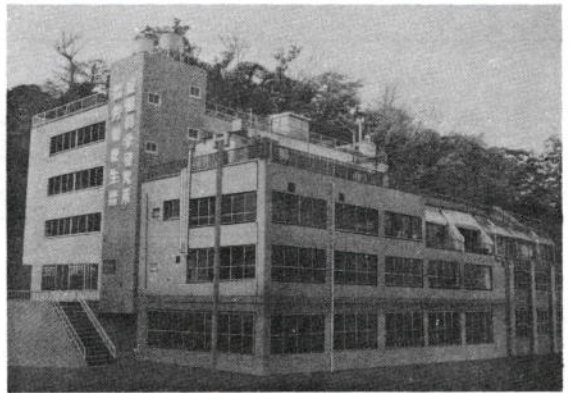
保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町3-17

電話 0426 (26) 2203・2204



○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。

○完全オンラインシステム化を実現致しました。(データー通信システム)

○関係医療機関 約 3,500ヶ所

○広範囲な検査内容

- 内分科学検査 ●免疫学検査 ●ウイルス検査 ●生化学検査 ●血清学検査 ●血液学検査
- 病理組織検査 ●細胞診検査 ●重金属検査 ●水質検査

| 都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。